

2021(令和3年) ハタハタ情報 No.1

令和3年9月22日発行

北海道立総合研究機構 中央水産試験場 資源管理部

Tel : 0135-23-8707 Fax:0135-23-8709

後日、インターネットからもご覧いただけます↓

マリンネット北海道 : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/index.html>

道総研水試調査船北洋丸によるトロール調査（留萌沖）の結果を報告します。

【調査概要】 2021年9月2日～9月3日に、留萌沖の水深200～400mの7調査点でトロール網による漁獲試験を行い、ハタハタを採集しました。

- 採集の主体は1歳魚（2020年級）で、採集尾数は近年の9月調査と同様に少なかった
- 来年に1歳となる0歳魚（2021年級）が多く採集された
- 水温は過去3年の平均的な値だった

1. ハタハタの採集状況

今回の調査では留萌沖でトロール網を7回曳き、ハタハタが合計206尾（1歳：15尾，0歳：191尾）採集されました。1歳以上の1マイルあたり採集尾数は3.0尾であり，調査を始めた2002年以降では少ない尾数でした（図1-1，1-2）。

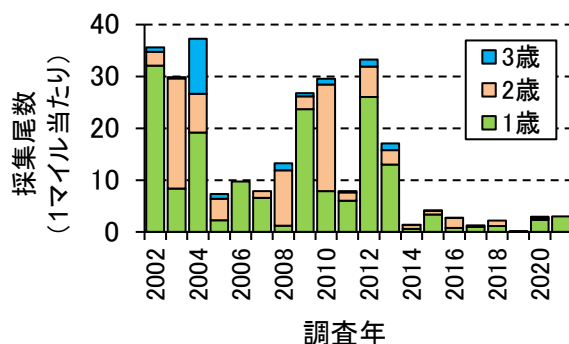


図1-1 採集尾数の年変化

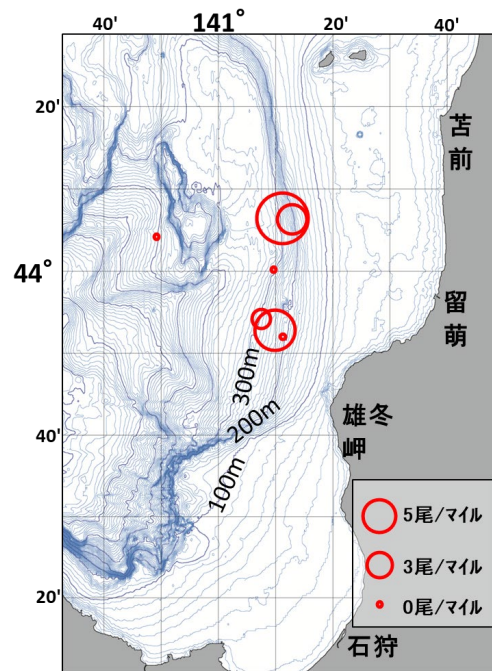


図1-2 9月トロール調査による採集尾数（1歳以上）

2. ハタハタ（1歳以上）の体長と年齢

例年，この時期の調査ではメスの採集は少なく，今回の調査では1歳以上15尾のうちメスは3尾でした。

今回の調査では2歳以上のハタハタが採集されなかったため，体長は小さく11～15cm台でした（図2）。

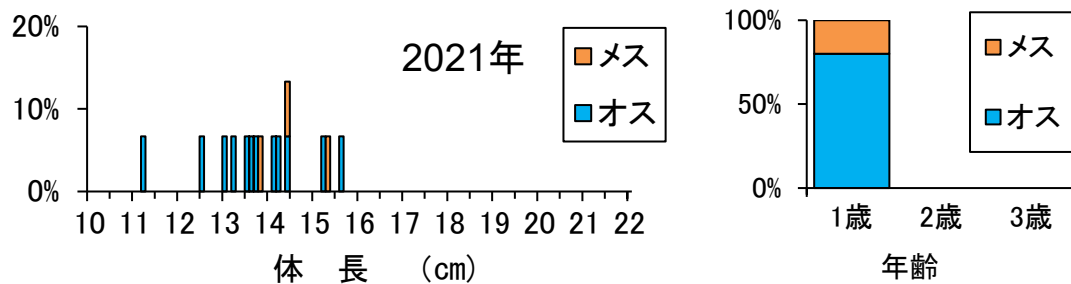


図2 今回の調査で採集されたハタハタ（1歳以上）の体長組成と年齢組成

3. 0歳の採集状況

今回の調査における0歳魚の採集尾数は合計191尾（1マイルあたりの採集尾数は39.9尾）であり、2010年以降の調査で最も多くなりました（図3）。

これまでの0歳魚の採集密度から今漁期に漁獲の主体となる2020年級（1歳）と2019年級（2歳）の来遊は少ないことが予想されますが、来年漁期に1歳と

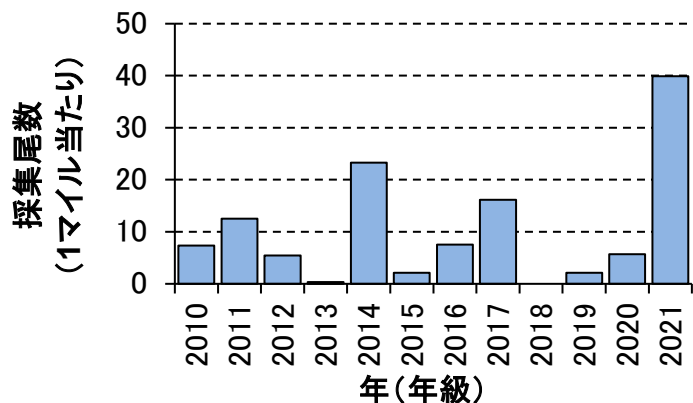


図3 9月トロール調査による0歳魚の採集密度

4. 水温

今回の調査中に実施したCTDによる雄冬沖（北緯44度，東経141度）の表層から底層にかけての水温観測結果を，過去3年の結果と併せて示しました（図4）。

今回の調査で観測した水温は，2018年の時よりは高く，昨年，一昨年の2019，2020年よりは低い，これら過去3年の平均的な水温となっています。

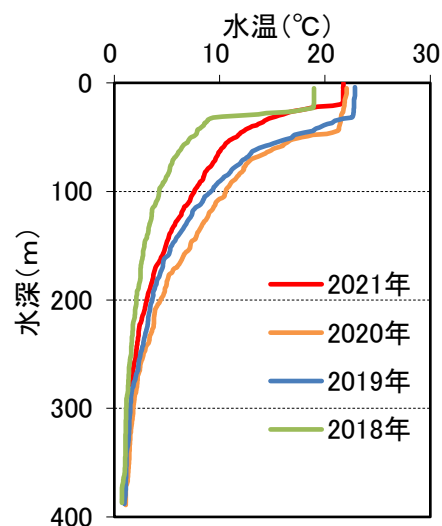


図4 雄冬沖（44° N, 141° E）の水温分布

5. 今後の調査など

1歳以上のハタハタについては，近年の9月調査の結果と資源量との関係が不明瞭になっており，分布量を判断するのが難しくなっています。そのため，10月に実施予定のトロール調査の結果や0歳時の採集尾数などから判断していきたいと思えます。